

競技・審判上の注意

- 1、本大会は、令和6年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規定及び公認審判員規定により行います。
- 2、進行上の確認事項
 - ① 競技は、空いたコート順に「流し込み方式」で行います。コートの変更がありますので、アナウンスにご注意ください。30分前には会場内に待機してください。
 - ② 選手及び監督・コーチは、確認後に係員とともに入場します。放送の指示で選手集合所にお集まりください。その際、ベンチ入場者（2名以内）は、各県連盟を通して承認を受け、許可証を有する者に限ります。
 - ③ 入場は係員に続き、若番の選手から入場します。退場は係員に続き勝者から退場します。競技場の入退場は、係員の指示に従ってください。
 - ④ 試合前の握手、及び終了時の主審との握手は、感染症対策により行いません。あいさつのみで進めてください。
 - ⑤ 試合が連続する場合は、前の試合終了から原則として15分の間隔を空けます。
 - ⑥ シャトルの選択は認めません。シャトルの交換は主審の指示に従ってください。
 - ⑦ コート入場後の公式練習は、初回戦のみ3分以内とし、それ以降のものについては認めません。練習は、選手同士で行い、指導者はコートに入ることはできません。
 - ⑧ 試合開始時は、ウェアの裾をパンツ等の中に入れるよう指導してください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
 - ⑨ 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は認めません。試合中の水分補給やタオルの使用は、試合進行を妨げない範囲で主審の許可のもと行ってください。
 - ⑩ インターバルは、競技規則の範囲で認めます。
 - ・ 11ポイント時～60秒以内、ゲーム間～120秒以内。なお、ゲーム間の助言について、監督・コーチはチェンジエングズ後に助言を行い、20秒のコールとともに速やかにコートから離れてください。
 - ⑪ 試合中の病気やけがに対して、コートに入ることができるのは、レフェリー及びレフェリーが認めた医療役員に限ります。
 - ⑫ 競技の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上着背面に要項に定められたゼッケンをつけてください。(チーム名表記のあるものは認めません。)
 - ⑬ 競技中は、マナーを大切にし、品位あるプレーをするよう監督者は指導願います。過度に相手を威圧する態度や行為については、警告もしくはフォルトを適用します。
 - ⑭ ベンチ入りする監督・コーチの服装については品位あるものとし、指導者としての品格を望みます。また、競技場内への携帯電話及びモバイル機器等の持ち込みは禁止とし、使用した場合は退場を適用します。
 - ⑮ 審判員の判定に対し、「抗議」「異議」を唱えることはできません。「質問」については、次のプレーが始まる前に当該選手のみ行うことができます。
 - ⑯ コーチの服装については、公認審判員規定第5条12項「チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボン、またはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、スリッパ、サンダルは禁止とする。」に従います。ただし、ハーフパンツは審査合格品であっても禁止します。